

μTRONキーボード

Model U01C0240

取扱説明書 [詳細編]





6	TRON モードでの文字配列表	23
6.1	超漢字での利用の場合	23
[1]	(超漢字) 日本語：ひらがな (シフトなし)	23
[2]	(超漢字) 日本語：ひらがな (左シフト)	23
[3]	(超漢字) 日本語：ひらがな (右シフト)	23
[4]	(超漢字) 日本語：カタカナ (シフトなし)	24
[5]	(超漢字) 日本語：カタカナ (左シフト)	24
[6]	(超漢字) 日本語：カタカナ (右シフト)	24
[7]	(超漢字) 英語：小文字 (シフトなし)	25
[8]	(超漢字) 英語：小文字 (左シフト)	25
[9]	(超漢字) 英語：小文字 (右シフト)	25
[10]	(超漢字) 英語：大文字 (シフトなし)	26
	キー割当一覧	26
	キー番号	26
	キー割り当て	27
7	超漢字で利用する特殊なキー操作一覧	30

マイクロトロン
「 μ TRON キーボード」の取扱説明書は、本書 [詳細編] のほかに、[基本編] (印刷物) があります。利用の開始にあたっては、まずそちらをご覧ください。

2.1 JIS モード (Windows)

^{ジス}
JISモードは、キートップの刻印に従ってキー入力するモードです。

JISモードでは、109キーボードとして機能します。ただし、Windowsキーは利用できません。また、アプリケーションキーは [Menu] と刻印されています。

 参考：Windows では [Ctrl] + [Esc] で [Windows] キーの代用ができます。

Fn キー

枠で囲まれた以下のキーは、Fn キーを押しながら該当キーを押して入力できます。

[F1] ~ [F12]、[Break]、[SysRq]、[PrtSc]、[ScrLk]、[Pause]


NumLock 状態

[NumLk] キー押すと、NUM ランプが点灯し NumLock (ナムロック) 状態になります。NumLock 状態では、前側面に刻印がある以下のキーがテンキーとして動作し、数字 / 四則記号などが入力できます。

[0] ~ [9]、[/]、[*]、[-]、[+]、[.]

もう一度 [NumLk] キー押すと NumLock 状態が解除され、NUM ランプが消灯します。

超漢字において、「μ TRON キーボード」を利用する方法を説明します。

 「超漢字 V」と「超漢字 4」については超漢字ウェブサイト <http://www.chokanji.com/> をご覧ください。

超漢字において「μ TRON キーボード」は、JIS モードと TRON モードの 2 つのモードを持っています。いずれかのモードを選んで利用します。

3.1 JIS モード（超漢字）

「μ TRON キーボード」の初期設定状態では、超漢字上でそのまま JIS モードで利用できます。通常の 109 キーボードとして、キートップの刻印どおりに機能します。


 JIS モードに関しては、第 2.1 節 (P.7) をご覧ください。

3.2 TRON モード（超漢字）

TRON モードは、TRON 配列に従ってキー入力するモードです。キートップに刻印はなく、付属の「μ TRON キーボードトレーナー」で示した配列に従ってタッチタイピングで入力します。

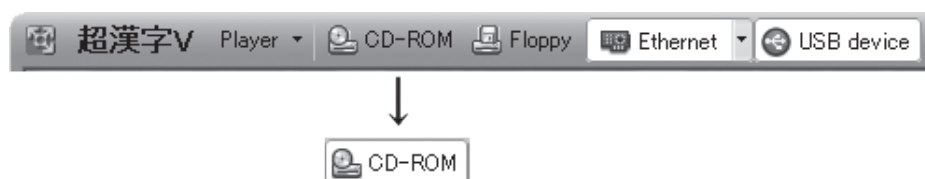
3.2.1 ドライバソフトの登録

超漢字で TRON モードとして利用するには、超漢字に対してあらかじめドライバソフトの登録が必要になります。以下の手順で登録してください。

 このドライバソフトの登録により、キー配列変更小物で変更したキー配列は失われます。必要に応じて、キー配列変更小物の [登録 / 保存] メニューを使い実身に保存しておいてください。

CD-ROM ドライブに、付属の『μ TRON Keyboard』の CD-ROM をセットします。

【超漢字 V の場合】VMware Player のツールバーの CD-ROM スイッチを押して接続状態にします。




3.2.2 JIS モードと TRON モードの間の切り替え

【超漢字 V の場合】

[左 Shift] キーと [右 Shift] キーを押しながら [Esc] を押します。

【JIS → TRON の場合】 NUM ランプが一瞬点灯し、TRON モードに切り替わります。

【TRON → JIS の場合】 CAPS ランプが一瞬点灯し、JIS モードに切り替わります。

 Windows 側のソフトにより、[Esc] キーを他のキーに割り当てていた場合は、変更先のキーを押す必要があります。

【超漢字 4 の場合】

[Fn] キーを押しながら、[TRON] キーを押します。


TRON モードでは、TRON ランプが点灯します。

3.2.3 日本語入力とアルファベット入力

TRON モードでは以下の手順で、日本語（ひらがな・カタカナ）とアルファベット（大文字・小文字）の入力を切り替えます。


日本語入力

ひらがなを入力するには、[ひらがな カタカナ] キーを押します。

 画面右下の入力モードの表記が「あ」になります。

カタカナを入力するには、[Shift] キーを押しながら [ひらがな カタカナ] を押します。


 CAPS ランプが点灯し、画面右下の入力モードの表記が「ア」になります。

 ローマ字入力する場合は、[Alt]+[ひらがな カタカナ] キーを押します。画面右下の入力モードの表記が「R あ」「R ア」になります。TRON モードの英字配列（DVORAK：ドボラック配列）（P.25 参照）に従って、ローマ字を入力します。

もう一度 [Alt] + [ひらがな カタカナ] キーを押すと、かな入力に戻ります。

アルファベット入力

アルファベットの小文字を入力するには、[英数 CAPS] キーを押します。

 画面右下の入力モードの表記が「a」になります。

アルファベットの大文字を入力するには、[Shift] キーを押しながら [英数 CAPS] を押します。

 CAPS ランプが点灯し、画面右下の入力モードの表記が「A」になります。

3.2.4 文字の入力

TRON モードで文字を入力する方法を説明します。文字配列の詳細は、第 6.1 節 (P.23) をご覧ください。

キー配置

TRON モードにおけるキー配置は、付属の「キーボードトレーナー」に示されています。

キートップの右下は日本語モードのときに入力できる文字です。キートップの左上は英語モードのときに入力できる文字です。



TRON モードでは、以下の規則に従って文字を入力します。

黒色の文字	該当キーを単独で押す。
赤色の文字	左シフトキー（赤）と該当キーを同時に押す。
青色の文字	右シフトキー（青）と該当キーを同時に押す。

一般のキーボードではシフトキーは、シフトキーを先に押してから続いて該当キーを押します。一方 TRON モードのシフトキーは、シフトキーと同時に該当キーを押すことでも入力できます（同時打鍵）。これにより、2つのキーを押す操作にもかかわらず、実際には1回の打鍵操作という感覚で入力できます。

✎ シフトキーより一瞬先に該当キーを押しても、シフト側の文字が入力されるように設定することができます。[小物]メニューの[ユーザ環境設定]の キー属性 の見出しを選んでください。「同時押し許容時間」を0以外の値、たとえば0.05を設定すると、該当文字を押してから0.05秒以内にシフトキーを押せば、シフト側の文字が入力されます。詳しくは、[小物]メニューの[取扱説明書小物]の索引から「同時押し許容時間」を検索してください。

黒文字

黒色の文字を入力するには、そのまま該当キーだけを単独で押します。

日本語入力の場合、以下の文字が入力されます。

✎ 拗音（ようおん）は、{ }で囲んでいます。



赤文字（左シフト）

赤色の文字を入力するには、左シフトキー（赤）と該当キーを同時に押します。日本語入力の場合、以下の文字が入力されます。

		...	‘	“	「	『								
\$		ひ	そ	・	{や}	ほ		ぎ	げ	ぐ		ゐ	+	#
		ぬ	ね	{ゆ}	よ	ふ			ぢ	ヴ	じ	ゑ		
	{え}	{お}	せ	ゆ	へ			ず	づ	,	.	{わ}		

以下の濁音は、この方法で入力します。シフトキーは左手を使い、文字キーは右手の位置に集められています。

「ぎ」「ぐ」「げ」「じ」「ず」「ぢ」「づ」「ヴ」

青文字（右シフト）

青色の文字を入力するには、右シフトキー（青）と該当キーを同時に押します。日本語入力の場合、以下の文字が入力されます。

	!	~	’	”	」	』								
¥	?	び	そ	こ	ば	ぼ		え	け	め	む	ろ	÷	%
		だ	ど	が	で	ぶ			お	ち	ー	み	や	
	{カ}	{ケ}	ぜ	ざ	べ			わ	{い}	{あ}	°	{う}		

以下の濁音は、この方法で入力します。シフトキーは右手を使い、文字キーは左手の位置に集められています。

「が」「ご」「ぎ」「ぜ」「ぞ」「だ」「で」「ど」「ば」「び」「ぶ」「べ」「ぼ」

半濁音文字

半濁音（「ぱ」「ぴ」「ぷ」「ぺ」「ぽ」）は、以下の手順で入力します。

該当の文字（「は」「ひ」「ふ」「へ」「ほ」）を押します。

右 Shift キーを押しながら、 を押し、半濁点「°」を入力します。

3.2.5 文字以外の入力

修飾キー / 制御キー

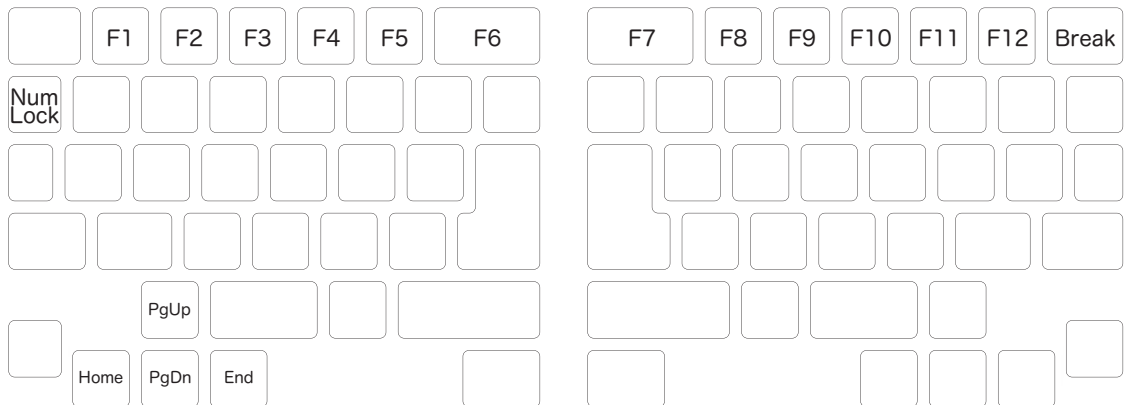
超漢字上での TRON モードにおいて、修飾キー / 制御キーは以下の意味を持っています。



制御キー	意味	Windows キーボードでの配置
	入力終キー	右 [Ctrl] キー、または [F10]
×	取消キー	[F9]
補助	補助キー	[F11]
CC	カレットコントロールキー	[][][][]
SC	サブ・カレットコントロールキー	[Alt] + [][][][]

[Fn] キー修飾

[Fn] キーを押しながら以下のキーを押すと、該当キーを入力できます。



超漢字のアプリケーションを強制終了するときは、[左 Shift] キー + [Fn] キー + [Break] を押ししてください。

Windows 用のダウンロードドライバは、「μ TRON キーボード」内のファームウェア更新のために必要な Windows 側のドライバソフトです。当初はファームウェア更新はありませんので、このドライバのインストールは必須ではありませんが、インストールしないと、利用のたびにドライバのインストールを要求するダイアログが現れます。本章の手順でインストールしておくことをお勧めいたします。

4.1 Windows XP SP2

4.1.1 インストール

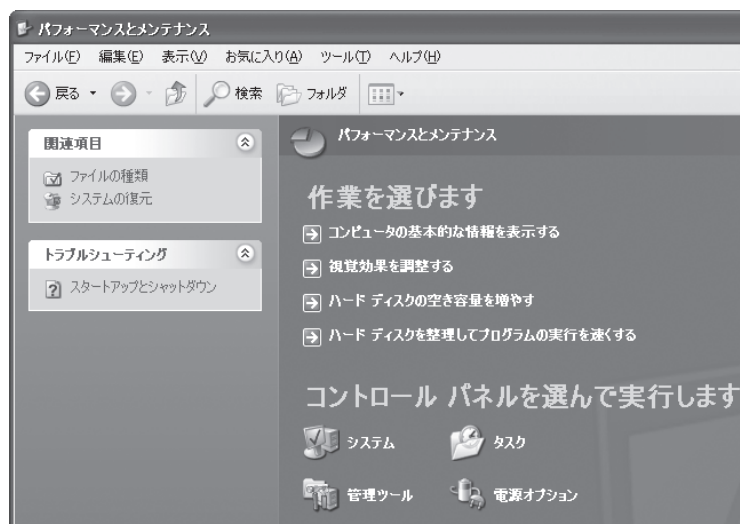
付属の『μ TRON キーボード 取扱説明書 [基本編]』をご覧ください。

4.1.2 アンインストール

Windows XP SP2 上で、ダウンロードドライバをアンインストールする手順を説明します。

タスクバーの [スタート] - [コントロールパネル] を選びます。続いて「パフォーマンスとメンテナンス」のアイコンを選びます。

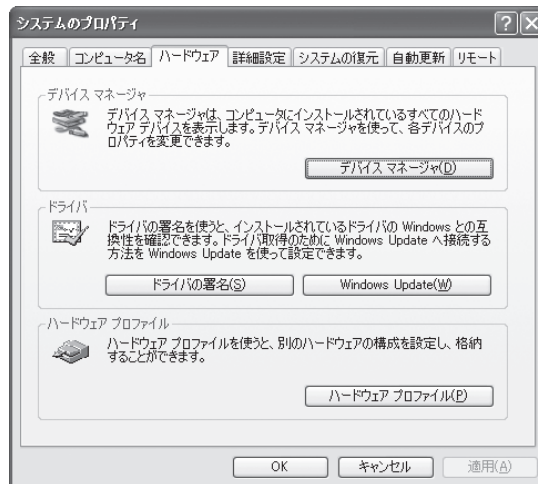
「パフォーマンスとメンテナンス」の画面に切り替わります。



- 「システム」のアイコンを選んで開きます。
- 「システムのプロパティ」のダイアログが現れます。

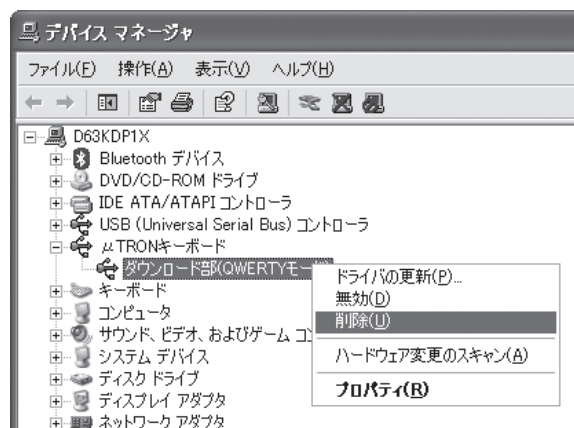


- [ハードウェア] のタブを選びます。



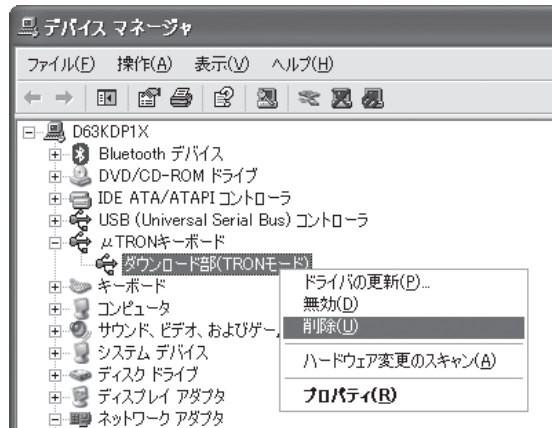
- 「デバイスマネージャ (D)」を選びます。
- 「デバイスマネージャ」のウィンドウが現れます。

- 「μ TRON キーボード」の [+] を選び、ツリーを開きます。
- 「ダウンロード部 (QWERTY モード)」を選び、右ボタンメニューから [削除] を選びます。



[Fn] キーを押しながら [TRON] キーを押し、TRON モードと JIS モードを切り替えます。「デバイスマネージャ」のウィンドウからもう一度「μ TRON キーボード」の [+] を選び、ツリーを開きます。

今度は「ダウンロード部(TRON モード)」を選び、右ボタンメニューから [削除] を選びます。



これで、JIS モードと TRON モードにおけるそれぞれのダウンロードマネージャがアンインストール（削除）されました。

4.2 Windows 2000 SP4

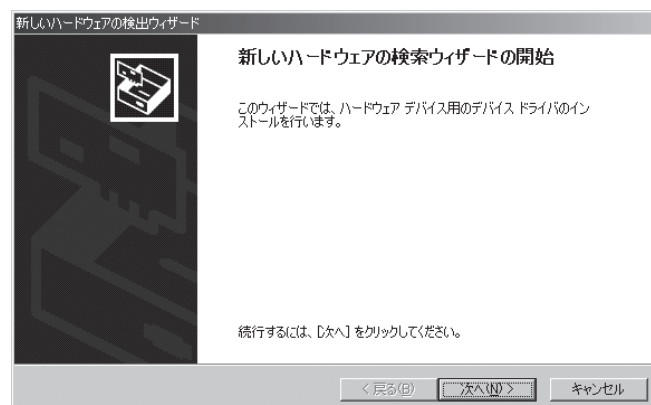
4.2.1 インストール

Windows 2000 SP4 上で、ダウンロードドライバをインストールする手順を説明します。

CD-ROM ドライブに、付属の『μ TRON Keyboard』の CD-ROM をセットします。

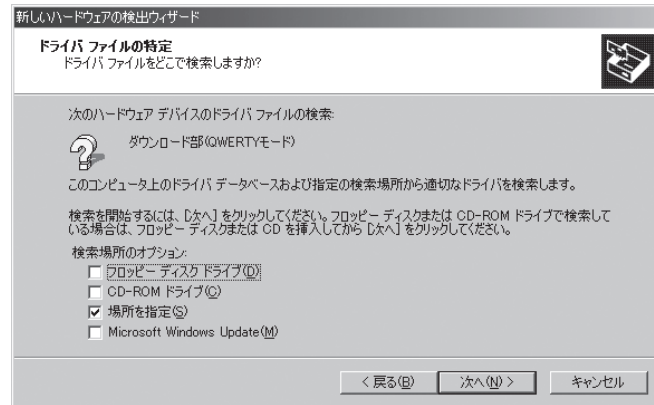
PC 本体の USB 端子に、本製品を接続します。

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」のダイアログが現れます。



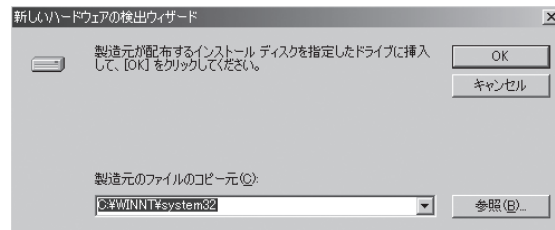
[次へ (N)] を選びます。

「ドライバファイルの特定」のダイアログが現れます。



「場所を指定 (S)」だけにチェックマークを入れ、[次へ (N)] を選びます。

「製造元が配布するインストールディスクを指定したドライブに挿入して [OK] をクリックしてください。」のダイアログが現れます。

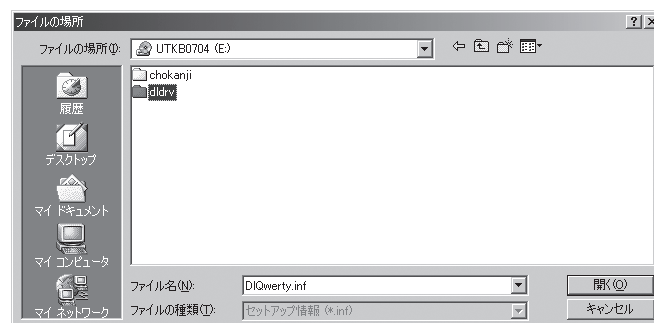


[参照 (R)] を選びます。

「フォルダの場所」のダイアログが現れます。

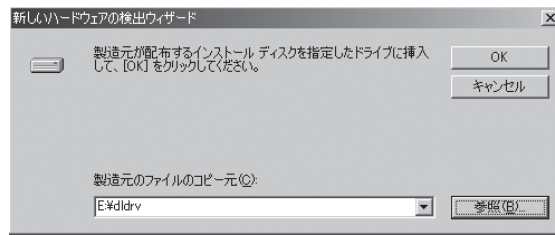


CD-ROM ドライブを選び、「dldrv」のフォルダを選び、[開く (O)] を選びます。
フォルダ「dldrv」の内容が現れます。



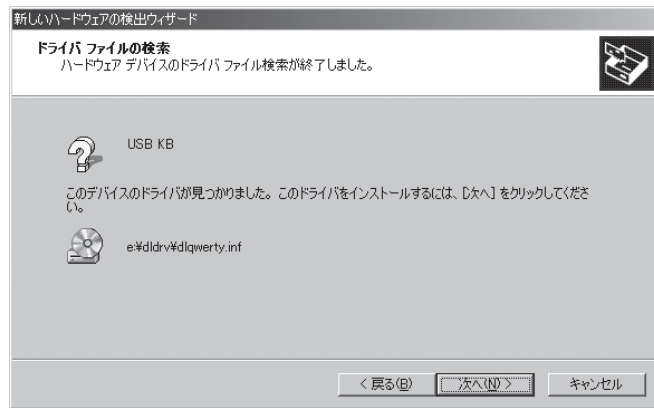
何も設定せずに、[開く (O)] を選びます。

「製造元のファイルのコピー元」の欄に、CD-ROM 内のドライバ格納場所が指定されます。



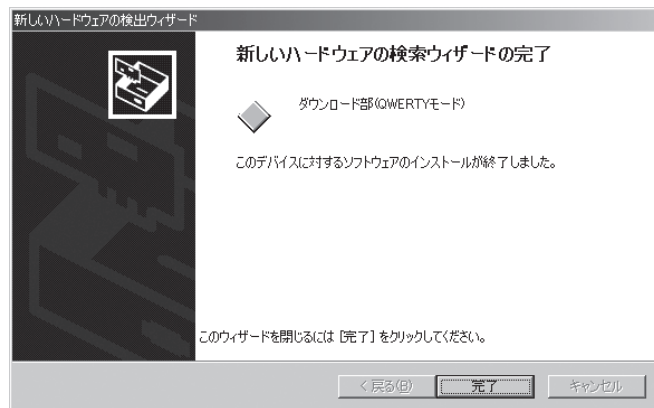
[OK] を選びます。

「ドライバファイルの検索」のダイアログが現れます。



[次へ (N)] を選びます。

インストールが始まります。インストールが終わると「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」のダイアログが現れますので、[完了] を選びます。



これで JIS モードのダウンロードドライバのインストールは終了です。

続いて、[Fn] キーを押しながら [TRON] キーを押します。

再び、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」のダイアログが現れます。

ステップ から同じ手順で今度は、TRON モードのダウンロードドライバをインストールします。

最後に以下のダイアログが現れますので、[完了] を選びます。

6.1 超漢字での利用の場合

{ }内は、拗音(ようおん)

[1] (超漢字) 日本語 : ひらがな (シフトなし)



[2] (超漢字) 日本語 : ひらがな (左シフト)



[3] (超漢字) 日本語 : ひらがな (右シフト)



[4] (超漢字) 日本語 : カタカナ (シフトなし)

補助	—	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	/	半角全角		
@	-	ラ	ル	コ	ハ	{ヨ}	取消	入力終	キ	ノ	ク	ア	レ	-	=
INS	拡張	タ	ト	カ	テ	モ			ヲ	イ	ウ	シ	ン	拡張	削除
命令	マ	リ	ニ	サ	ナ	TAB		改段落	ス	ツ	,	。	{ッ}	命令	
Fn		↑ SC	空白	↑ 左 Shift	無変換			変換	↑ 右 Shift	一字消	↑ CC				TRON
	← SC	↓ SC	→ SC		英語			日本ひら		← CC	↓ CC	→ CC			

[5] (超漢字) 日本語 : カタカナ (左シフト)

補助		…	‘	“	「	『	<	({	[\	*	半角全角		
\$		ヒ	ソ	・	{ヤ}	ホ	取消	入力終	ギ	ゲ	グ		卅	+	#
INS	拡張	ヌ	ネ	{ユ}	ヨ	フ			ゝ	ヂ	ヴ	ジ	ヱ	拡張	削除
命令	{エ}	{オ}	セ	ユ	ヘ	TAB		改行	ズ	ヅ	,	.	{ワ}	命令	
Fn		↑ SC	空白	↑ 左 Shift	カタカナ変換			逆変換	↑ 右 Shift	一字消	↑ CC				TRON
	← SC	↓ SC	→ SC		英語 CAPS			日本カタ		← CC	↓ CC	→ CC			

[6] (超漢字) 日本語 : カタカナ (右シフト)

補助	!	~	’	”	」	』	>)	}]		x	半角全角		
¥	?	ビ	ゾ	ゴ	バ	ボ	取消	入力終	エ	ケ	メ	ム	ロ	÷	%
INS	拡張	ダ	ド	ガ	デ	ブ			オ	チ	— (長音)	ミ	ヤ	拡張	削除
命令	{カ}	{ケ}	ゼ	ザ	ベ	TAB		改行	ワ	{イ}	{ア}	°	{ウ}	命令	
Fn		↑ SC	空白	↑ 左 Shift	カタカナ変換			逆変換	↑ 右 Shift	一字消	↑ CC				TRON
	← SC	↓ SC	→ SC		英語 CAPS			日本カタ		← CC	↓ CC	→ CC			

キー割り当て

[]内は、JIS 第1水準の区点番号。

{ }内は、拗音(ようおん)。

キー番号	刻印	日本語			英語		
		シフトなし	左シフト	右シフト	シフトなし	左シフト	右シフト
1	Esc	補助					
2	ぬ 1	— ダッシュ (全角) [01-29]	(割当なし)	! 感嘆符 [01-10]	— ダッシュ (全角) [01-29]	(割当なし)	! 感嘆符 [01-10]
3	ふ 2	1	… 三点リーダ [01-36]	~ 波ダッシュ [01-33]	1	… 三点リーダ [01-36]	~ 波ダッシュ [01-33]
4	あ 3	2	‘ 左シングル 引用符 [01-38]	’ 右シングル 引用符 [01-39]	2	‘ 左シングル 引用符 [01-38]	’ 右シングル 引用符 [01-39]
5	う 4	3	“ 左ダブル 引用符 [01-40]	” 右ダブル 引用符 [01-41]	3	“ 左ダブル 引用符 [01-40]	” 右ダブル 引用符 [01-41]
6	え 5	4	「 始めかぎ 括弧 [01-54]	」 終わりかぎ 括弧 [01-55]	4	「 始めかぎ 括弧 [01-54]	」 終わりかぎ 括弧 [01-55]
7	お 6	5	『 始め二重 かぎ括弧 [01-56]	』 終わり二重 かぎ括弧 [01-57]	5	『 始め二重 かぎ括弧 [01-56]	』 終わり二重 かぎ括弧 [01-57]
8	NumLk	@ アットマーク [01-87]	\$ ドル記号 [01-80]	¥ 円記号 [01-79]	@ アットマーク [01-87]	\$ ドル記号 [01-80]	¥ 円記号 [01-79]
9	半角/全角	ハイフン [01-30]	(割当なし)	? 疑問符 [01-09]	ハイフン [01-30]	(割当なし)	? 疑問符 [01-09]
10	た Q	ら	ひ	び	; セミコロン [01-08]	^ アクセント コンプレックス [01-16]	: コロン [01-07]
11	て W	る	そ	ぞ	, コンマ [01-4]	§ 節記号 [01-88]	& アンパサンド [01-85]
12	い E	こ	・ 中点 [01-06]	ご	・ ピリオド [01-05]	・ 中点 [01-06]	— アンダー ライン [01-18]
13	す R	は	{や}	ば	p	P	
14	か T	{よ}	ほ	ぼ	y	Y	
15	Del	取消					
16	Menu	INS					

7

超漢字で利用する特殊なキー操作一覧

7

超漢字で利用する特殊なキー操作一覧

		超漢字 V	
		JIS モード	TRON モード
TRON モード	JIS モード	[左 Shift] + [右 Shift] + [Esc]	
かな入力	ローマ字入力	[Alt] + [ひらがな カタカナ]	
NumLock 状態		[NumLock] ^(*1)	不可
強制終了		[Fn] + ([左 Shift] または [右 Shift]) + [Break]	[Fn] + [左 Shift] + [Break]
[PgUp] [PgDn] [Home] [End] キー		[PgUp] [PgDn] [Home] [End]	109 キーボードにおける [Alt] + ([][][][]) と等価
[Fn] + ([PgUp] [PgDn] [Home] [End]) キー		[SysRq] [ScrLk] [PrtSc] [Pause]	109 キーボードにおける [PgUp] [PgDn] [Home] [End] と等価

		超漢字 4	
		JIS モード	TRON モード
TRON モード	JIS モード	[Fn] + [TRON]	
かな入力	ローマ字入力	[Alt] + [ひらがな カタカナ]	
NumLock 状態		[NumLock] ^(*1)	[Fn] + [NumLock] ^(*2)
強制終了		[Fn] + ([左 Shift] または [右 Shift]) + [Break]	[Fn] + [左 Shift] + [Break]
[PgUp] [PgDn] [Home] [End] キー		[PgUp] [PgDn] [Home] [End]	109 キーボードにおける [Alt] + ([][][][]) と等価
[Fn] + ([PgUp] [PgDn] [Home] [End]) キー		[SysRq] [ScrLk] [PrtSc] [Pause]	109 キーボードにおける [PgUp] [PgDn] [Home] [End] と等価

*1 第 3.2.5 節の「NumLock 状態」のキー配列に基づき入力される。

*2 キーの前側面の刻印に基づき入力される。

μ TRON キーボード 取扱説明書 [詳細編]

2007 年 4 月 初版 1 刷

発行： ユーシーテクノロジー株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-20-1 第 28 興和ビル

TEL:03-5437-2323 (代表)

FAX:03-5437-2297

<http://www.uctec.com/>

Copyright © 2007 by Ubiquitous Computing Technology Corporation

UT240-002-01

